

競技注意事項

- 2026年度日本陸上競技連盟規則にしたがう。
- 招集について
 - 招集場所
各競技場所及びスタート付近（リレー競技は各走者スタート位置）とする。
各競技に出場する者は各場所で係員の点呼を受けること。
競技場内へはGATE1またはGATE4から入場すること。
トラック競技とフィールド競技を兼ねる者は、トラック競技を優先とする。
ただし、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
 - 招集時間はHP記載の競技時間のおりとする。
 - 電子機器類の競技場内への持込を禁止する。（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）。
 - 1500m以上のトラック種目は招集時に腰ナンバービブスを受け取り右腰斜め後方に着用すること。（レース後にフィニッシュ地点のカゴに返却すること）
 - リレーのオーダー用紙は招集完了の1時間前までにT I C（受付）へ提出すること。
- バーの上げ方
走高跳（練習）（開始）
(一高男子) 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m78（以降3cmずつ）
(一高女子) 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m43 1m46（以降3cmずつ）
(中学男子) 1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 1m63（以降3cmずつ）
(中学女子) 1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m38 1m41（以降3cmずつ）
棒高跳 当日、審判員の指示に従うこと。
- 本競技会における傷病については、応急処置のみで以降の責任を負わない。
- 競技場内外とも汚さないよう注意し、ゴミは各人・各チームで必ず持ち帰ること。
- 貴重品の管理については各自で十分に注意すること。
- 選手は競技終了後、審判員の指示に従ってGATE1から退場すること。
- スパイクのピンは、全天候舗装のため9mm以下（走高跳、やり投は12mm以下）のピンを使用のこと。
シューズ規定（厚底シューズ）は日本陸上競技連盟規定（TR5）を適用する。
- 第二競技場について
 - ベンチを設置することを禁止する。
 - ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
 - 1・2レーンは長距離専用、3～6レーンは流し専用、7・8レーンはハードル専用とする。
 - スタート練習は110mHのスタートラインを使用すること。
 - リレーのバトンパス練習は衝突回避のため、バックストレートを使用すること。
 - 走幅跳、走高跳の練習は所定のピットで行うこと。
 - 投擲の練習は禁止する。
 - 走路及びピットに立ち止まっの指導を禁止する。
 - 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
 - 走路の横断は十分に注意すること。
 - 投擲場の使用は禁止する。
 - 用具は使用する者で準備、片付けること。
 - 多目的広場は駐車場となるのでウォーミングアップ等に使用しないこと。
- メイン競技場のコンコース、スタンドへのベンチ設置を認めるが、ゴミなどは各チームで処理すること。
- 一般高校の競技結果は掲示板に掲示しないのでHPの結果速報で確認すること。